



2025 Super FJ Japan League Rd.5-6



スーパーFJ もてぎ・菅生シリーズ第 5 & 6 戦

2025 MOTEGI Champion Cup Race Rd.4

2025 年 8 月 30-31 日 モビリティ リゾート もてぎ 天候:晴れ 参加 14 台



テキスト:はた☆なおよき

スーパーFJ もてぎ・菅生シリーズは、いよいよ終盤戦に突入！ 夏休み最後の週末、8 月 30～31 日にシリーズ第5戦と第6戦の2連戦が、モビリティリゾートもてぎで全国転戦のスーパーFJ ジャパンリーグとの W タイトルとして開催された。

両シリーズとも、早くもチャンピオン決定の可能性がある。王手をかけているのは、もちろん#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)だ。まず、もてぎ・菅生シリーズにおいては、スポーツランド SUGO での前大会で、今回もエントリーしている#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)の連勝を許したものの、自らも連続2位でギャップの縮小を最小限に留めていた。もちろん連勝すれば決定。あとは、宿敵#6 吉田選手の結果次第となる。

一方、未だ無敗のジャパンリーグに関しては、1勝すれば決まり。あるいは、あと 6 ポイント加えれば逃げ切りとなるため、4位・4位という結果でも決定となる。もっとも、そんな決まり方を#22 酒井選手は望んでいないだろうが。とはいえ、まだ4戦残されているため、現在ポイントを獲得しているドライバー全員に逆転の権利は残されているとはいえ、全勝した上で#22 酒井選手の結果次第だから、現実味はかなり低い。

ともあれ、#22 酒井選手と#6 吉田選手の死闘は必至であり、このふたりに立ち向かえるドライバーがいれば、さらに見応えは増すはず。期待せずにはいられない。

公式予選



今回は 1 大会 2 レース開催であるが、予選は1回のみ。レース1のグリッドは予選結果で、そしてレース2は、レース 1 の結果に基づきトップ 6 のリバースグリッドに。7位以下はレース 1 の順位が反映される。それにしても 8 月も、もう終わるというのに暑さが厳しいまま。数日前の天気予報で『土日の北関東は危険な暑さ』になると告げられていたが、まさにそのとおりとなった。しかも、練習走行が行われた金曜日よりも気温、路面温度ともに 10 度近く上がっていたため、その違いに戸惑ったドライバーも少なくなかったようだ。土曜日に行われる予選としては、スーパーFJ が最後になったため、12 時 25 分からのスタートとなったことも、より拍車をかけていた。

計測は 15 分間。先頭で戻ってきたのは#6 吉田選手だった。計測1周目から2分5秒 988 を記すも、これを上回ってきたのが#15 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)で、2分5秒 666 をマーク。しかし、誰にも行く手を阻まれずに走り続ける#6 吉田選手は、次の周に2分5秒 032 を出してトップ返り咲きに成功！ これに#14 松原選手が2分5秒 323、そして#22 酒井選手が2分5秒 347 で続く。その後、#6 吉田選手は計測4周目に2分5秒 087 を記すも、自己ベストは更新できず。逆に最終ラップとなる計測6周目に、2分5秒 134 まで#14 松原選手は短縮するも、#6 吉田選手をあと一歩のところまで上回れず。また、#22 酒井選手は計測4周目に2分5秒 344 を記すも、3 番手のまま。土曜日のうちにジャパンリーグのチャンピオンを決めるには、やや黄信号が灯ってしまう。

4 番手は#2 YOSHIDA KODAI 選手(T's TECHNO RF KKSII)で、2分5秒 641 をマーク。5 番手には2分5秒 687 を記録していた#78 小田部憲幸選手((株)フォースリンク ZAP ED)。6 番手は#81 小野大地(群馬トヨペット Team RiNoA ed)で、2分6秒 015 を記していた。

また、2 台がエントリーしたジェントルマンクラスでは、#38 畠山退三選手(Hobbybase & ZAP ED)がトップで、総合では 12 番手だった。

ポールポジション: #6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「位置取りは良かったと思います。路面温度が高くて、タイムはもうちょっと出したかったんですが、このコンディションだったら、このぐらいだったかな、と。昨日よりニュータイヤでも1秒ぐらい差があるんですけどね。この前の鈴鹿(7 月 13 日のシリーズ第4戦)で勝って、そこから自分に自信がついてきたので、落ち着いてレースできるようになってきたことが結果につながっていると思います。その後の SUGO での2連勝と合わせ、5連勝目指して頑張ります」



予選 2 番手: #14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)

「昨日の練習と比べると路面温度が 10 度ぐらい違うので、どうしても昨日の感覚で行くとリヤが出ちゃうんですよ。なので、それよりも押さえ気味で走っていて、正直、手応え的にはまったくなかったです。ただ、決勝は4時台なので路面温度も下がると思うので、昨日の練習のとおりに走っていけば、優勝もできるんじゃないかって。また予選とは走り方変えて、決勝に臨みたいと思います」



予選 3 番手: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「昨日からのマシンセットの変更があつて、それが今日うまく噛み合わなかったなという感じです。とりあえず昨日のセットに戻すか変えていくか、ちょっとまだわからないですけど。昨日よりも温度が高くなっていて、昨日は曲がらない印象があつたので、車の方で変えてみたんですが、今度は高すぎて逆にめっちゃオーバーな感じになってしまつて。そこはしっかり、午後のレースに向けて、何を換えればいいのかデータを見ながら改善できれば、と思っています。ちょっと難しいですけど、中間ぐらいを狙っていこうかと」



第5戦決勝レース



土曜日のレース 1 のレース進行開始は 16 時 10 分。太陽が真上にあつた予選より、確かに陽は傾いたとはいえ、暑さが和らいだという印象はまったくなし。精神的だけでなく、肉体的にも楽な戦いになることは、どうやらまったく許されそうもなかった。

注目されたスタートを決めたのは、ポールシッターの#6 吉田選手と#22 酒井選手。#14 松原選手は 1 コーナーでアウトから#22 酒井選手に被せられたばかりか、#2 YOSHIDA 選手の先行も許していた。また、2コーナーでは中団に接触が。セーフティカーが入らなかったのは、不幸中の幸いだった。

1 周目を1周目を終えた時点で、トップ#6 吉田選手と#22 酒井選手の差はコンマ1秒。早々と 3 番手以下を引き離し、一騎討ちの様相を呈することに。3 番手も#2 YOSHIDA 選手と#14 松原選手が激しく競い合う。#14 松原選手がしきりと牽制をかけるも、#2 YOSHIDA 選手のガードは堅く、そのつど屈していなかった。



トップ争いはなおも続き、#22 酒井選手が #6 吉田選手の間を待つも、逆転の決め手を欠く。逆に順位が目まぐるしく動いたのは 5 番手以降。4 周目には #33 小林留魁選手(アルビ新潟第一ホテル ED)が予選 9 番手から、その位置に上げる。

レースが動いたのは、9 周目。5 コーナーで #14 松原選手が 3 番手に上がるも、ヘアピ

ンで #2 YOSHIDA 選手がすぐ抜き返す。しかし、#14 松原選手は諦めていない。最終ラップの 5 コーナーで再び前に。その一方で、#6 吉田選手のトップは不動のまま。#22 酒井選手のジャパンリーグ連勝は『4』で止まるとともに、#6 吉田選手は鈴鹿、SUGO に続く 4 連勝を達成した。

3 位は #14 松原選手で、4 位は #2 YOSHIDA 選手。5 位は #33 小林選手で、6 位は予選 11 番手からじわじわ順位を上げていた #59 向畑疾風選手(ファーストガレージ KKS2)が獲得した。そしてジェントルマンクラスでは #38 畠山選手がまたも勝ち、総合でも 9 位でゴールしていた。



優勝：#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「最初の方、落ち着いてバトルはできていたんですけど、コンディションが厳しくて、僕も酒井選手もリヤがきつい状況だったので、そこをうまく使って突っ込ませないようにして、ブロックしてうまく抑えて、最後は逃げ切りという形で終わって、レース展開的には良かったと思います。明日は 6 番手からになりますが、この前の鈴鹿も 6 番手から勝っているんで、そのイメージでしっかり 1 台、1 台パスして最後は 1 位で帰りたいと思います」

2 位：#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「序盤から普通に行こうと思っていたんですが、ブレーキがフラフラで、完璧なタイミングじゃないと抜け

ないなと思ったので、そこがちょっと一発で行き切れなかったという部分なので、ちょっと悔しいですね。昨日のセッティングに戻して、ペース的にも良かったんですけど、スタートに賭けていたのに行き切れませんでした。明日も頑張ります」

3位: #14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)

「スタートで遅れなければ……。3位争い的には、僕の方がペースあるなと思っていたので、もうちょっと早く攻略していれば、前でバトルしている車に追いつけたと思うし、あの優勝争いに加われたのかなど。悔しいですね」

9位&ジェントルマンクラス優勝: #38 畠山退三選手(Hobbybase & ZAP ED)

「なんとか順位を上げることができました。今日はバトルもできましたし、まあまあ良かったです。いつもはだいが離されていたので」

第6戦決勝レース

日を改めて行われた第6戦決勝は、前述のとおりトップ6のリバースグリッドに。その結果、ポールポジションからスタートするのは、このレースウィークがデビュー戦となった#59 向畑選手だ。「4周目ぐらいまでは、あんまりリラックスできていなかったんですが、最後に追いついてからは、落ち着いて走ることができました。」



昨日はスタートで失敗したので、今日決めれば、全然問題ないです」と強気の発言もあったのだが…。

レース2のスタート進行開始は11時。またしても猛暑の中での戦いとなった。ポールポジションからスタートした#59 向畑選手は出遅れてしまい、代わって1コーナーへのホールショットを決めたのが2番手の#33 小林選手だった。しかし、その背後にはもう#22 酒井選手が！ もはやスタートが苦手という印象はない。そればかりか、3コーナーでは早くもトップに躍り出る。さらにヘアピンでは#6 吉田選手も2番手に浮上、さっそく主役ふたりが並び立つ格好になった。

1周目を終えた段階での#22 酒井選手と#6 吉田選手の差はコンマ8秒。これを次の周には1秒差に広げる。そのまま逃げるかと思われた#22 酒井選手ながら、逆に以降は#6 吉田選手が差を詰めるように。一方、4番手からスタートを切った#14 松原選手は、またも出遅れて1周目を5番手に終えていたが、2周目の3コーナーで#59 向畑選手をパス。そして前を行く#33 小林選手にも迫っていった。

3周目からはトップがテール・トゥ・ノーズで競われるようになる。後方から何度も牽制をかける#6 吉田選手だが、#22 酒井選手のガードは堅い。同様に3番手争いも激しく、6周目にはコースの至るところで#33 小林選手にプレッシャーをかけていた、#14 松原選手が90度コーナーでついに前に出ることに。しかし、その時点でトップを争うふたりからは、すでに8秒もの差をつけられており、もはやこれまでかと思われた。

9周目にレースの流れがガラリと変わる。ヘアピンでこそ仕掛けるも、前に出られなかった#6 吉田選手

ながら、離されることなくダウンヒルストレートを駆け抜けていったが、90度コーナーで仕掛け損ねて#22 酒井選手と接触！ #6 吉田選手がトップに立ち、スピンしてしまった#22 酒井選手は4番手に後退。これで#14 松原選手が2番手に浮上する。

一方、最終ラップのヘアピンで#33 小林選手を抜いた#22 酒井選手だったが、90度コーナーで抜かれ、この日は表彰台にさえ上がれず……となるかと思われたのだが。先の接触に対し、#6 吉田選手には即座にタイムペナルティ、10秒加算の判定が下されて4位に降格。その結果、#14 松原選手が繰り上がって優勝。そして2位には#33 小林選手、3位には#22 酒井選手がつけることになった。

これにより、#22 酒井選手は残り2戦を待たずして、ジャパンリーグのチャンピオンが確定。もてぎ・菅生シリーズは持ち越しとなったが、#6 吉田選手と二人だけにチャンピオン候補が絞られた。



5位は#59 向畑選手で、せっかくの好位置スタートを活かせなかったとはいえ、デビューウィークでこの順位なら上出来と言えるだろう。そして6位は#2 YOSHIDA 選手。ジェントルマンクラス優勝は#38 畠山選手で、またしても9位フィニッシュを果たしている。

もてぎ・菅生シリーズの残す1戦は11月30日に、そしてジャパンリーグの第6大会は10月4日に鈴鹿サーキットで開催される。いずれも#22 酒井選手と#6 吉田選手を核とした、激しいバトルが繰り広げられるはずだ。



優勝：#14 松原将也選手(ZAP MARUTOKU 10V ED)

「これが初優勝になります。でも、またしてもスタートが……。蹴り出しはそこまで悪くなかったんですが、その後、1周目が。バトル自体は、昨日悪かったところを改善して、昨日よりスムーズに抜けはしたんですけど、『抜く、抜かない』よりもペースが良くなかったもので。今は複雑な心境です。次はトップでチェッカーを受けます」

2位: #33 小林留魁選手(アルビ新潟第一ホテル ED)

「表彰台は初めてですね。ちょっと運も良くて、最後までまあ、前でやり合っていたので、運で上がった順位ですから、あまり納得していないですけど。次、もてぎなので、また。そこではもっと、実力で上に上がっていきたいと思っています」

3位: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KKS2)

「僕と馨選手が最後、バトルするのかと思っていたんですが……。前半、僕の方がペースあったんですけど、後半は僕がタレ始めたのもあって、追いつかれてバトルになっちゃったので、当たっちゃったのは仕方ない。シリーズ考えても3位で、ちゃんとポイント獲れているので、しっかり気持ちを切り替えていこうと思います。ジャパンリーグは決まりましたね。去年はスーパーFJ でひとつも獲れていなかったんで、そこは素直に嬉しいです」

9位&ジェントルマンクラス優勝: #38 畠山退三選手(Hobbybase & ZAP ED)

「まあまあ……ですね。一応、前に着いていけたので。でもね、もうひとつ前に出たかったですね。欲も出ますよ、とにかく。次は6秒台に入りたいですね、もう涼しくなるでしょうから」



2025 S-FJジャパンリーグ ポイント表

レーススケジュール



Rd.1	3月30日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップ
Rd.2	5月11日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップ
Rd.3	6月8日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.4	7月27日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.5-6	8月30-31日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース
Rd.7	10月4-5日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月8日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース

ポイントランキング

[illegible]



2025 MOTEGI Champion Cup Race 2025もてぎチャンピオンカップレース第4戦



JAF地方選手権 もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第5戦 第6戦

スーパーFJ 公式予選

2025/8/30 13:40

MOBILITY RESORT
MOTEGI
Road Course(4,801m)

正式結果表

No 11

Weather : Fine
Track : Dry

Pos	No	Class	CP	Driver	CarName	Type	Tire	Best Time	Delay / Gap	B/L
1	6			吉田 馨	TAKE FIRIST KKS-2	KKS II	DL	2'05.032		3 / 8
2	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10 VED	RD10V	DL	2'05.134	0.102 0.102	7 / 7
3	22			酒井 翔太	ファーストガレージKK-S2	KKS II	DL	2'05.344	0.312 0.210	5 / 7
4	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF KKS II	KKS II	DL	2'05.641	0.609 0.297	3 / 6
5	78			小田部 憲幸	(株)フォースリンク ZAP ED	KKS II	DL	2'05.687	0.655 0.046	5 / 7
6	81			小野 大地	群馬トヨペットTeam RiNoA ed	KKS II	DL	2'06.015	0.983 0.328	5 / 7
7	53			石井 大雅	ファーストガレージ制動屋S II	KKS II	DL	2'06.124	1.092 0.109	3 / 7
8	82			三ツ井 光輝	群馬トヨペットTeam RiNoA KYB ED	KKS II	DL	2'06.132	1.100 0.008	6 / 7
9	33			小林 留魁	アルビ新潟第一ホテルED	KKS II	DL	2'06.143	1.111 0.011	3 / 7
10	57			中村 プンスーム	ファーストガレージKKS II	KKS II	DL	2'06.160	1.128 0.017	5 / 7
11	59			向畑 疾走	ファーストガレージKKS2	KKS II	DL	2'06.187	1.155 0.027	7 / 7
12	38	G	1	畠山 退三	Hobbybase&zap-E	KKS II	DL	2'06.788	1.756 0.601	4 / 7
13	15			松下 彰臣	Abel HOSHO&PARM ZAP 10V ED	RD10V	DL	2'07.219	2.187 0.431	7 / 7
14	8	G	2	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	DL	2'09.111	4.079 1.892	7 / 7

***** 以上予選通過 (2'42.721 - 130% / G : 2'46.334 - 130%) *****

JAF地方選手権 もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第5戦 第6戦

スーパーFJ Race1 決勝

2025/8/30 18:35

MOBILITY RESORT
MOTEGI
Road Course(4,801m)

正式結果表

No 20

Weather : Fine
Track : Dry

Pos	No	Class	CP	Driver	CarName	Type	Tire	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best Time	B/L
1	6			吉田 馨	TAKE FIRIST KKS-2	KKS II	DL	10	20'58.171		2'04.753	6 / 10
2	22			酒井 翔太	ファーストガレージKK-S2	KKS II	DL	10	20'58.816	0.645 0.645	2'05.010	6 / 10
3	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10 VED	RD10V	DL	10	21'06.279	8.108 7.463	2'05.229	8 / 10
4	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF KKS II	KKS II	DL	10	21'07.176	9.005 0.897	2'05.397	3 / 10
5	33			小林 留魁	アルビ新潟第一ホテルED	KKS II	DL	10	21'08.103	9.932 0.927	2'05.569	7 / 10
6	59			向畑 疾走	ファーストガレージKKS2	KKS II	DL	10	21'16.772	18.601 8.669	2'06.185	6 / 10
7	78			小田部 憲幸	(株)フォースリンク ZAP ED	KKS II	DL	10	21'17.669	19.498 0.897	2'06.128	2 / 10
8	82			三ツ井 光輝	群馬トヨペットTeam RiNoA KYB ED	KKS II	DL	10	21'18.223	20.052 0.554	2'06.179	2 / 10
9	38	G	1	畠山 退三	Hobbybase&zap-E	KKS II	DL	10	21'19.036	20.865 0.813	2'06.082	7 / 10
10	15			松下 彰臣	Abel HOSHO&PARM ZAP 10V ED	RD10V	DL	10	21'23.276	25.105 4.240	2'06.876	4 / 10
11	57			中村 プンスーム	ファーストガレージKKS II	KKS II	DL	10	21'23.624	25.453 0.348	2'05.983	9 / 10
12	8	G	2	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	DL	10	22'07.727	1'09.556 44.103	2'09.234	9 / 10

***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****

*1	81			小野 大地	群馬トヨペットTeam RiNoA ed	KKS II	DL	0				
*2	53			石井 大雅	ファーストガレージ制動屋S II	KKS II	DL	0				

1

1

59

向畑 疾走

ファーストガレージKKS2

2

3

2

YOSHIDA KODAI
T's TECHNO RF KKS II

3

5

22

酒井 翔太

ファーストガレージKK-S2

4

7

78

小田部 憲幸

(株) フォースリンク ZAP ED

5

9

38

島山 遼三

Hobbybase&zap-E

6

11

57

中村 プンスーム

ファーストガレージKKS II

7

13

81

小野 大地

群馬トヨペットTeam RiNoA ed

2

33

小林 留魁

アルビ新潟第一ホテルED

4

14

松原 将也

ZAP MARUTOKU 10 VED

6

6

吉田 馨

TAKE FIRIST KKS-2

8

82

三ツ井 光輝

群馬トヨペットTeam RiNoA KYB ED

10

15

松下 彰臣

Abel HOSHO&PARM ZAP 10V ED

12

8

野口 伸周

野口商会 ZAP10VED

14

53

石井 大雅

ファーストガレージ制動屋S II

JAF地方選手権 もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第5戦 第6戦

スーパーFJ Race2 決勝

2025/8/31 / 2:55



正式結果表

No 38

Weather :Fine

Track :Dry

Road Course(4,801m)

Pos	No	Class	CP	Driver	CarName	Type	Tire	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best Time	B/L
1	14			松原 将也	ZAP MARUTOKU 10 VED	RD10V	DL	10	21'09.161		2'05.459	5 / 10
2	33			小林 留魁	アルビ新潟第一ホテルED	KKS II	DL	10	21'11.881	2.720	2'05.921	7 / 10
3	22			酒井 翔太	ファーストガレージKK-S2	KKS II	DL	10	21'12.298	3.137	2'05.032	3 / 10
*2 4	6			吉田 馨	TAKE FIRIST KKS-2	KKS II	DL	10	21'16.541	7.380	2'04.745	3 / 10
5	59			向畑 疾走	ファーストガレージKKS2	KKS II	DL	10	21'18.639	9.478	2'06.443	10 / 10
6	2			YOSHIDA KODAI	T's TECHNO RF KKS II	KKS II	DL	10	21'18.954	9.793	2'06.413	6 / 10
7	57			中村 プンスーム	ファーストガレージKKS II	KKS II	DL	10	21'20.016	10.855	2'06.425	9 / 10
8	81			小野 大地	群馬トヨペットTeam RiNoA ed	KKS II	DL	10	21'20.206	11.045	2'06.072	6 / 10
9	38	G	1	畠山 退三	Hobbybase&zap-E	KKS II	DL	10	21'24.321	15.160	2'06.790	7 / 10
10	15			松下 彰臣	Abel HOSHO&PARM ZAP 10V ED	RD10V	DL	10	21'30.910	21.749	2'07.548	6 / 10
*1 11	53			石井 大雅	ファーストガレージ制動屋S II	KKS II	DL	10	21'33.352	24.191	2'06.537	6 / 10
12	78			小田部 憲幸	(株)フォースリンク ZAP ED	KKS II	DL	10	21'38.698	29.537	2'06.142	5 / 10
13	8	G	2	野口 伸周	野口商會 ZAP10VED	RD10V	DL	10	21'52.069	42.908	2'09.154	7 / 10
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****												
82				三ツ井 光輝	群馬トヨペットTeam RiNoA KYB ED	KKS II	DL	6	12'53.610	4Laps	2'06.472	6 / 6

Fastest Lap

	2'04.745 (3 / 10)	138.551 km/h	6	吉田 馨 / TAKE FIRIST KKS-2
G	2'06.790 (7 / 10)	136.317 km/h	38	畠山 退三 / Hobbybase&zap-E

Start Time :11:13'33 Finish Time :11:34'42

PENALTY

*1 CAR No.53:タイムペナルティ10秒(21'23.352 + 10秒)(2025もてぎチャンピオンカップレース SpR.28条~4)①衝突)[裁定: 11:26]

*2 CAR CAR No.6:競技結果(21'06.541)に10秒加算(2025もてぎチャンピオンカップレース SpR.28条~4)①衝突)[裁定: 11:40]

